

タカラスタンダードニュース

Takara Standard News

2018 Autumn Vol.6

Contents

特集 タカラスタンダードのものづくり
対談「並河靖之七宝記念館さま」

タカラスタンダードを支えるものづくり
「日本フリット株式会社」

想いを届ける現場
タカラスタンダードのチーム力

「家事らくリフォーム作品コンテスト 2018」
全国最優秀賞決定!!

紡いでいく、
ものづくりへの想い。

想いを託されたい。次の時代の「ものづくり」が生まれる。

タカラスタンダードのものづくり
対談：並河靖之七宝記念館 さま

美を極めた超絶技巧の有線七宝

並河靖之

ホーロー製品のリーディングカンパニー

タカラスタンダード

タカラスタンダード
生産技術本部 次長
川崎 浩一
タカラスタンダード入社以来、23年間
ホーロー開発に従事。
フリット(ガラス素材)やホーロー加工の新しい
可能性を求めて研究に取り組んでいる。

並河靖之七宝記念館
主任学芸員
武藤 夕佳里さま
記念館設立に尽力し、2002年の開館
から学芸員を務める。
京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産
研究センターの研究員としても活躍中。

■撮影場所：並河靖之七宝記念館

お客さまに喜んでいただくための「ものづくり」。

多様な色彩と精緻な図柄が特長の有線七宝。近年、再注目を集めており国内外で高い評価を得ています。実は「七宝」と「ホーロー」は同じ技術。装飾品や日用品など役割は変わりますが、昔も今も人々の暮らしを豊かに彩っています。
今回は、有線七宝を世界に広めた第一人者・並河靖之氏の記念館で主任学芸員を務める武藤夕佳里さまと、タカラスタンダードの技術研究員が対談。「ものづくり」へのこだわりを語り合いました。



藤草花文花瓶

開発に情熱を注ぐのは、
今も昔も同じ。

タカラスタンダード・川崎(以下、川崎)
今回こちらで作品を拝見して、緻密な技とともに多彩な色使いに感銘を受けました。とても美しいですね。

並河靖之七宝記念館・武藤主任学芸員(以下、武藤)
ありがとうございます。並河は色に強いこだわりを持っていました。自然界にある色の微妙なグラデーションを再現するため、釉薬の実験を重ねて新色を開発していたようです。

川崎
ホーローと七宝は、素地にガラス質の釉薬をのせて焼き付ける同じ技法。並河さんのような芸術作品には到底およびませんが、タカラスタンダードでもホーローでキレイな色を表現するのは大きなテーマです。

武藤
今でこそ芸術作品としての評価を得ていますが、当時は商品。明治時代の工芸は工業でしたから、商品を売らなければいけない。並河と職工たちはお客さまに

喜んでもらう品をつくるために必死でした。

川崎
私たちもお客さまに喜ばれる商品をお届けできるよう、新しいデザインや機能の開発に日々取り組んでいます。ガラス質を素材としているホーローや七宝は、美しいうえに丈夫。進化させて、使う人がもっと快適に暮らせるようにしていきたいですね。

「ものづくり」の基本は、
人の暮らしを豊かにすること。

武藤
私は人間の生活に関わるもの全てが芸術だと考えています。特別に鑑賞するのではなく、暮らしの豊かさを創造できることが大切で、そのためにものをつくっている。並河もタカラスタンダードも、暮らしに密着した「ものづくり」をしています。

川崎
弊社の社長もよく言っているのですが、「人々の生活を豊かにするために、どんな

価値を与えられるのか」。時代とともに求められる価値は変わるので、研究して新しいものをつくっていかないと。

武藤
時代の変化で、残念ながら失われていくものもあります。工芸の技術もそのひとつ。ただ、伝統のある技術はカタチを変えて引き継がれていくと思っています。先人の技術や想いを継承した職人さんが新しい技を発見し、新しい品をつくっていく。そうして、次世代のものづくりが生まれるのではないのでしょうか。

川崎
今回、並河さんの作品を拝見して、たくさん刺激を受けました。「ホーローで活かすためにどうすればいいのか?」も考えさせられましたし、このご縁が新たな開発のきっかけになるかもしれません。

武藤
そうならば嬉しいですね。楽しみにしています。

■取材協力 並河靖之七宝記念館

住所/京都市東山区三条通北裏白川筋東入堀池町388
電話/075-752-3277
開館時間/10:00~16:30 (入館 16:00)
休館/月曜・木曜(祝日の場合翌日)※

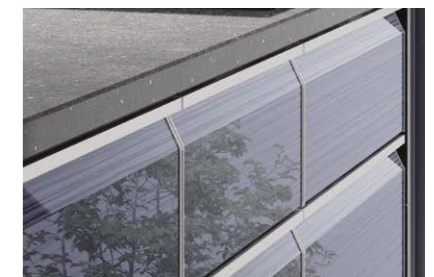
※夏季・冬季長期休館あり(要問合せ)



「若松鶴文合子」 四季折々の花鳥風月を、精緻な模様と微妙な色彩の変化で表現した並河七宝。



記念館には、下画や色見本など並河七宝の製作過程がわかる貴重な資料も展示されている。



タカラスタンダードの技術が生み出した高品位ホーロー。

タカラスタンダードを象徴する高品位ホーロー。
品質を保ち、さらに進化させていくためには研究開発が不可欠です。
今回はタカラスタンダードとタッグを組み、フリットという素材から
ホーローの魅力を高めている日本フリット株式会社へ取材に伺いました。

そもそも、
ホーローとは？

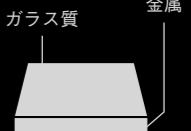


鋼板
(金属)



ガラス質の釉薬
(ゆうやく)

850°Cで
焼き付けて密着!



ホーロー

フリットが原料

素材の価値を高めれば、
お客さまにお届けできる
商品の価値も上げられる。

フリットという素材から、
ホーローのクオリティを上げる。
フリットは特殊なガラスでホーロー
素材のひとつ。原料となる輸入天然
資源は状態にばらつきがあるうえ、
世界情勢の影響で調達が困難になる
場合もあります。タカラスタンダード
はフリットを購入していましたが、
良質な素材を一定量確保できないと
ホーローというコア技術がゆらぐ
ため、日本フリットを系列化。さらに
日本フリットはホーローやアルミメッキ
鋼板を使用したハイセラルの製造
工場を持っており、フリットからホー
ローになるまで一貫して生産できる
メリットもありました。特にハイセ
ラルは内装用ホーロー建材で当時の
タカラスタンダードにはなかった
技術。互いの技術を融合できたこと
で、エマウォールなどホーローパネル
の発展にもつなげられたのです。
ホーロー商品を進化させるためには、
ものづくりの源流となるフリットから

研究を深めていく必要があります。
日本フリット研究技術部はタカラ
スタンダードの開発部とタッグを組み、
新しい技術の開発を進めています。
インクジェット印刷で、
魅せる美しさをプラス。
湿気に強く耐久性もあるホーロー
は水まわり製品に適していますが、
丈夫なだけではお客さまを惹きつけ
られません。我々は美しさのグレード
を上げる印刷技術も発展させてきま
した。色の版をつくって印刷する「転写
紙製法」にはじまり、その技術を応用
した「グラビアオフセット印刷」を経て
誕生したのが、高精細な絵柄を表現
できる「インクジェット印刷」です。
この印刷技術をホーローに適用する
のはかなり難しく、実は一度、諦めて
います。しかし、タカラスタンダードの
渡辺社長に「できる」と背中を押され、
再び海外視察へ。ヨーロッパで浸透
していたタイルへのインクジェット
印刷から情報を得てテストを繰り返

返し、画像データをダイレクトに出
力してホーローに印刷する「ダイレ
クトクリア製法」を実現できました。
これによりホーローの性能を維持
したまま天然木の木目や大理石の
紋様などをリアルに再現でき、意匠
性を高めることに成功。機能やデザ
インの進化など、ホーローの可能性は
無限にあります。今後も技術を向上
させ、お客さまに喜んでいただける
魅力的な商品をタカラスタンダード
とともに開発していきたいですね。



日本フリット株式会社(愛知県半田市)
ガラスフリットという材料技術をベースにしな
がら、独自の道を歩む素材メーカー。
タカラスタンダード株式会社の100%出資
子会社で、同社のホーロー生産工場としても
重要な役割を担う。1963年設立。

タカラスタンダード常務執行役員
日本フリット株式会社 代表取締役社長
中野 弦一郎

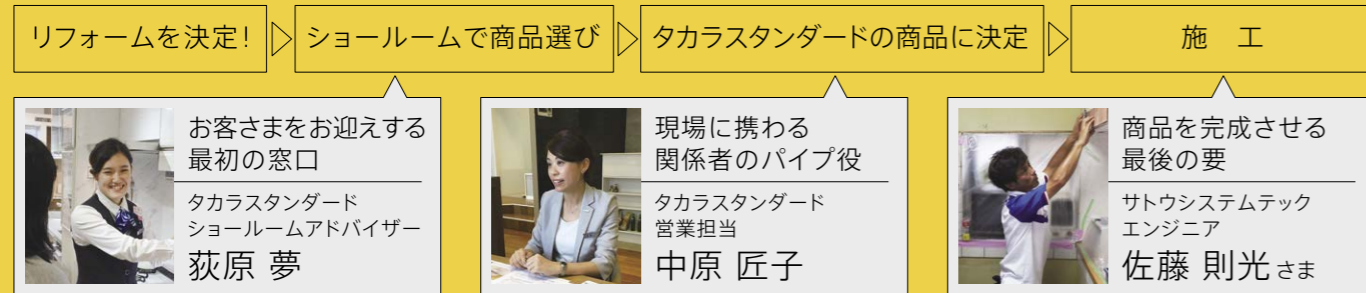
タカラスタンダードの開発部を経て
日本フリット株式会社代表取締役社長に就任。
釉薬設計や印刷製法など新しい技術の開発にも
積極的に取り組んでいる。



タカラスタンダードは チーム力に自信があります！

タカラスタンダードはお客様の思い描く暮らしを実現するため、各分野の担当者たちがチームとして連携し活躍しています。今回は埼玉にお住まいのSさまのキッチンリフォームに密着。それぞれの役割と想いを聞いてみました。

■リフォームの流れ



エンジニア
現場で商品を
組み立てて、
お客様の想いをカタチにする。

お客様のお宅に商品を組み付けるのがエンジニアの仕事です。現場に届くのは出来上がった商品ではなく、まだ部材の状態。それをぼくたちエンジニアが現場に合わせて調整しつつ組み立て、商品として完成させ納めます。リフォームの最終段階を任されているので大きな責任を感じますね。指定エンジニアとしてタカラスタンダードの商品を10年以上扱ってきて作業は慣れているのですが、予想で施工はしません。必ず施工説明書を

確認して丁寧に進め、みんなが手がけてきたプラン通りにきっちり完成させます。現場での経験から商品の納まり方など詳しく把握しているので、タカラスタンダードの営業担当とはよく話し合います。うやむやなまま進むと結果的にお客様に迷惑がかかる。自分が担当しない現場の相談にのることもありますよ。

タカラスタンダードの商品は、間違いがない。

エンジニアとして長年ふれてきて、タカラスタンダードの商品は間違いがないと感じています。システムキッチンが高い買い物ですが、ホーローは丈夫で長持ち。他のメーカーにはない、

魅力を持っていると思います。ちょっと重たいので運ぶのには苦労しますが(笑)。

施工でのこだわりは、「どれだけ気を遣えるか」ということ。商品の納まりだけでなく作業の進め方などにも気を配って、お客様が十分に満足できる施工をしたい。お客様には作業を見て、気になる点があれば気軽に質問してもらいたいですね。キッチンの施工は一日がかり。力仕事も多いし、体力的にもラクではありません。しかし、新しいキッチンを見て「キレイ!」と感動されるお客様の姿を目にすると疲れが吹き飛ぶ。それが日々のエネルギー源になっています。



エンジニアが現場に合わせて微調整を行いながら、びったり納めていく。

お客様からのご質問にも丁寧に答える。

ショールームアドバイザー



楽しくお話ししながらお客様のこだわりを引き出し、具体的な提案へとつなげていく。

今回担当させていただいたSさま、ご来店時は「L字型キッチンをリフォームしたい」という大きなご要望だけをお持ちでした。そこで、いろいろなことを楽しくお話をしながら細かくヒアリング。奥さまから美しさへのこだわりを感じたため、ワークトップを高級感のあるクォーツストーンにした「レミュー」をご提案しました。さらに、手狭なL字型キッチンで効率よくお料理できるようなシンクが作業スペースになる「ユーティリティシンクE」をおすすめ。また、リフォームを担当する工務店がお決まりでなかったため、さいたまショールームが信頼しているお店をご紹介し、力を合わせて最適なプランを創り上げました。



大通りに面しているさいたまショールームは、ふらりと来店されるお客様も多い。

営業担当



プロフェッショナルたちをサポートし、
連携させてスムーズなリフォームを実現する。

リフォームには、多くの専門家が関わります。お客様と接しプランを提案するショールームアドバイザー、リフォームを担当する工務店、タカラスタンダードの商品を設置するエンジニア、それぞれの動きを把握しスムーズに連携させるのが営業の役割。打ち合わせを重ねてお客様のキッチンに合わせた商品を発注し、施工日などのスケジュール管理も担当します。また、プランづくりのサポートも大きな役割。今回のSさまは複雑かつ特殊な納まりで、きれいに仕上げるためには図面では判断できないことも多かったため各所に問い合わせて情報を集めました。



直接関わることは少ないが、現場でお客様の声をお聞きすることも大切にしている。

埼玉県
Sさま

丈夫さとお掃除のやすさで
ホーローのキッチンに決めました。

使っていたシステムキッチンの扉表面が劣化して剥がれてきたのがリフォームのきっかけ。ホーローが素材として一番丈夫そうだったのでタカラスタンダードに決めました。さいたまショールームではアドバイザーが扉をハンマーで叩いてみせてくれて、強さを体感できました。さらにお手入れが簡単なもの選んだポイント。キッチンはどうしても汚れてしまうから、サッと拭いてキレイになるのはうれしいですね。今回ショールームで工務店もご紹介いただいたのですが、とても細やかな対応で安心してリフォームを進められました。次は浴室をリフォームしようかなと思っています。



今回ご採用いただいたL型の「レミュー」

応募総数
396作品

初開催の「家事らくリフォーム作品コンテスト 2018」

全国最優秀賞決定!!

タカラスタンダードでは、システムキッチン・バスを中心としたリフォームコンテンツ強化策の一環として、全国のタカラパートナーショップを対象に「家事らくリフォーム作品コンテスト 2018」を初開催。“家事らく”なリフォームを実現したか等を審査基準に、全国最優秀賞が2作品、全国優秀賞が6作品選出され、7月26日(木)に表彰式が開催されました。



全国最優秀賞

キッチン&リビング部門
株式会社 キタセツさま (東京都)



ビフォー



アフター

東京都 Nさま邸

<講評>

ダイニング側の既存の木の収納を残しながら、天井にも木をあしらうことで統一された印象のキッチンとダイニングを実現した。料理研究家であるため、キッチンをバックに写真を撮られることも多い施主さまにご納得いただけるデザインに仕上がったことが最大の評価ポイント。

全国最優秀賞

浴室&サニタリー部門
株式会社 ヤマイチさま (岩手県)



ビフォー



アフター

岩手県 Kさま邸

<講評>

浴槽だけでなく、洗面扉のデザインも統一し、洗練された空間に仕上がっている。施主さまのお悩みであった「寒さ」「狭さ」の解消に加え、「どこでもスピーカー」のご提案等で、お風呂場という空間を楽しんでいただくリフォームに成功した。

全国優秀賞受賞作品

■キッチン&リビング部門

	会社名	所在地	評価ポイント
優秀賞	株式会社安江工務店さま	愛知県	きめ細かいユーザーニーズへの対応と+αの提案力
	株式会社けんちく工房 紘さま	静岡県	照明や梁によるカラーコーディネート
	株式会社住まいる工務店さま	栃木県	ニーズに応えた家事らくの動線

■浴室&サニタリー部門

	会社名	所在地	評価ポイント
優秀賞	太陽リビング株式会社さま	長野県	銭湯風のユニークな脱衣所などお客様の要望への対応力
	タカラ産業株式会社さま	岡山県	空間全体を使った家事らくの提案
	株式会社ライフライク工務店さま	京都府	元の構造を活かした見栄えのいい配置

Takara standard

「きれい」と暮らそう、高品位ホーロー。

2018年秋号(第6号)
2018年9月発行(年2回発行)
発行/タカラスタンダード株式会社
〒506-8536 大坂府大阪市城東区嶋野東1-2-1
tel.06-6962-1500